



『住民の顔が見える広報』を目指し、地域おこし協力隊が  
まちに飛び出て市民の皆さんをクローズアップ!!

第3回目は、茂尻にお住いの山下浄薫さん。浄覚寺のお坊さんであり、また茂尻スポーツ少年団赤平サッカースクールの監督を務められている山下さん。サッカーへの熱い思いに迫ります。

サッカーが好き。  
子どもたちが好き。  
だから続けられる。

茂尻スポーツ少年団  
赤平サッカースクール 監督



指導を引継いだきっかけは

自分が中学生のころ、サッカーを教えてもらっていた恩師が、偶然にも今の少年サッカーチームの団長をしていたんです。息子が習い始めたことがきっかけで、団長と共に指導に携わるようになり、7年前に資格を取得し、それから監督となりました。

指導で心掛けていることは

子どもたちには大人になってもサッカーを続けて欲しいので、あまり『勝つこと』にこだわらず、のびのびと練習させるようにしています。後は練習をこなすだけにならないよう、広い視野を持ち、常に考え選択・判断して行動する習慣を身に付けさせたいので、練習中は子ども同士を意識するように指導しています。

指導していて難しいと感じていることはありますか。

難しいことだらけですよ。常に子どもたちの個性や実力を見ながら、集中力を保てるよう練習メニューを工夫しています。

どんなときにやりがいを感じますか。

試合に勝った時も嬉しいですが、それ以上に子どもたちの成長を感じたときですね。それまで試合中にノーマークだった子どもたちが、練習して実力を付けたことで、あるときから相手チームにマークされるようになったんです。相手の指導者も選手も、子どもたちのことを実力がある選手だと意識してくれたときが、特に自分がやりがいを感じる瞬間です。

今後の目標は。

近々の目標は、全道大会に出場することです。自分の中では全道大会などに勝ち進んだときにしか子どもたちと記念写真を撮らないと決めているんですよ。ただ、心の中では一緒に写真を撮りたいので、子どもたちには『早く全道大会に連れて行ってくれ!』と話しています。今年こそ、この目標を達成できるよう、子どもたちと一緒に頑張りたいと思います。

笑顔! 編集後記

地域おこし協力隊 野口 暢子  
愛知県出身 高知大学人文学部卒  
「常に笑顔で頑張ります!」



楽しみだった「あかびら火まつり」で、市民おどりに参加しました! 気づいたら、楽しくて無我夢中で踊っていました(笑)。来年は、女性版赤フロンナーにも挑戦してみようと思います♪ 5,000発の花火、綺麗だったなあ~



いつも全力で子ども達と向き合い指導する山下さんの姿が印象的でした。

お坊さんとサッカーの指導との両立は、「忙しいですが充実しています。」と笑顔で話す山下さん。先日のW杯も夢中で見ていたそうです。

